



AMCO

CaseReport

Specialists in the importing and marketing of USA and European medical and scientific products in Japan.

2020.07

26

精緻な内視鏡外科手術を目指して 新世代電気メスVIO3とマイクロライン剪刀が手術を変える

川崎市立川崎病院 外科 医長

三原 規奨 先生

- 【学歴】 2005年 慶應義塾大学医学部 卒業
- 【略歴】 2007年 慶應義塾大学 外科 専修医
2009年 慶應義塾大学病院 胆道班
2012年 静岡県立静岡がんセンター 肝胆膵外科
2015年 川崎市立川崎病院 外科 医長
現在に至る
- 【所属学会】 日本外科学会専門医
日本消化器外科学会専門医
消化器がん外科治療認定医
日本肝胆膵外科学会高度技能専門医



●VIO3



●マイクロライン

■ はじめに

近年、内視鏡外科手術は、その患者メリットと技術革新により増加の一途を辿っている。腹腔鏡下胆嚢摘出術（ラパコレ）は、その内視鏡外科手術の登竜門とも呼べる手術であり、外科医が最初に行うことのできる多い腹腔鏡手術の一つである。そのため、ラパコレにおける基本手技を洗練することは、全ての内視鏡外科手術の基礎となると言っても過言ではない。

マイクロライン剪刀は、切れ味の良い切離を実現し、その薄い刃はより精密な層の剥離を可能にする。また、VIO3のソフト凝固は、組織の炭化を最小限に抑えながら高い止血能力を有する。これらを内視鏡外科手術に導入することで、術者の意図する切離・剥離が精緻に行える。

当院は病床700床を超える地域の中核病院で急性期病院であり、多くのラパコレを経験する。以前のラパコレは、ヘラ型の電気メスを使用し、胆嚢の膜、層構造などの認識・コントロールが甘い手術を行っていた。電気メスによる層のコントロールは達人には訳もないことかもしれないが、より簡単に、膜・層構造を意識した繊細な手術を実現し、手

術時間の短縮、出血量の減少、合併症の抑制という患者アウトカムの向上を目指すため、マイクロライン剪刀と新世代電気メスVIO3を導入した。今回、より精緻なラパコレを実現する方法について紹介する。

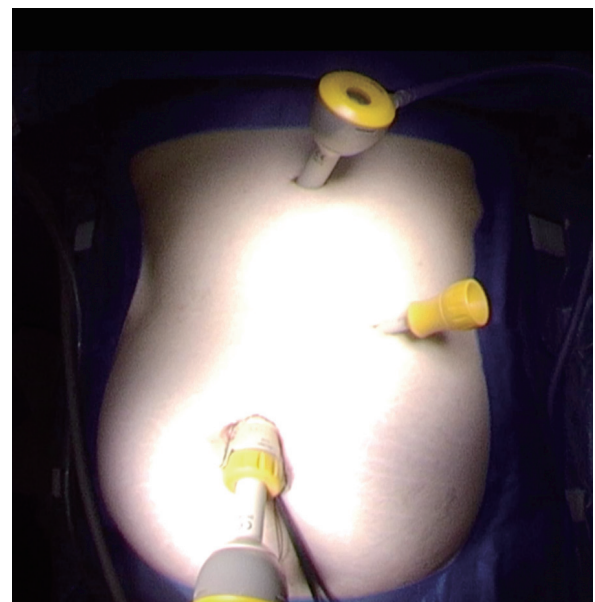


写真. 1 port setting

